

水戸証券株式会社 様



Humanitation—信頼のきずな



水戸証券株式会社

<水戸証券株式会社について>

2021年に創業100年を迎える地域密着型の証券会社。営業エリアは関東一円で、国内株式のほか投資信託、外国債券、外国株式、ファンドラップなど、お客さまの投資目的に合わせた商品を提供している。また、AFP、CFP等の資格を持った営業員を多く配置し、投資情報に加え、お客さまのライフプラン、マネープランに欠かせない相続・贈与・税制等に関する相談に応じ、手続き等のサポートも行っている。

「統合管理ツールと pcAnywhere から ISL Online にリプレースすることで、ライセンスコストを5年間で約600万円削減しました」

水戸証券株式会社

システム統括部長 小林 顕氏、同部リーダー 富田 早苗氏

写真右端：弊社営業部 木村

水戸証券では、2つのネットワークにつながった端末を異なるツールでサポートを行っていましたが、オンプレミス環境でのISL Onlineの導入により、運用コスト削減とライセンスの一元管理を実現しました。導入に携わった水戸証券株式会社システム統括部長の小林顕氏と同部リーダーの富田早苗氏にお話を伺いました。

サポート業務の見直しで、5年間で約600万円のコストダウンが期待できました

— 2つのネットワークを運用されているようですが、それぞれ、どのような業務に利用されているのでしょうか。

1つは業務用のネットワークで、証券会社としての高いセキュリティが求められます。もう1つは、インターネットに接続したネットワークで、業務やお客さまサービスに必要な情報を検索するなどを使用しています。

システム統括部では、業務用PCを約850台、インターネット用PCを約200台、トータルで約1,050台のPCを管理し、運用委託会社にてサポート業務を行っています。

サポート業務ではリモートツールを使用するのですが、セキュリティ確保のため、2つのネットワークのリモート操作は、それぞれ別のツールで行っていました。

— サポート業務の見直しは、どのようなきっかけで行われたのでしょうか。

経営層からの全社的なコスト削減要求が強まったことを受けて、システム統括部でもあらためて全体的な見直しを行いました。そこで浮かび上がってきたのが、業務用PCのサポート業務で使用している統合管理ツールの運用コストでした。

また、インターネット用PCのサポート業務で使用していたpcAnywhereのサポート終了のアナウンスがあり、代替ツールを選定する必要もありました。

そこで、サポート業務に必要なリモートツールの一本化と合わせて、どちらのツールもサポート対象となる端末数に応じた課金体系だったため、ライセンス契約を見直すことによりコスト削減が可能と考え、ISL Onlineを導入した場合で試算してみました。

その結果、5年間で約600万円のコスト削減効果が見込まれ、リモートツールのリプレース検討作業が始まりました。

オンプレミスと2つの異なるネットワーク対応、この要件を満たすリモートツールは『ISL Online』だけでした

— リモートツールの選定にあたっては、どのような点がポイントになったのでしょうか。

リモートツールのリプレースを行う最大の目的は運用コストの削減ですが、当社で導入するためには2つの要件を満たす必要がありました。

オンプレミス環境での運用

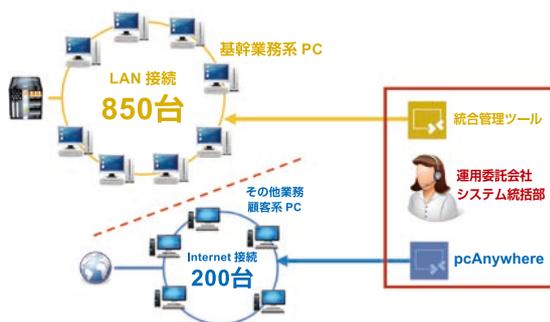
クラウドを使用したりリモートツールもありますが、業務用PCに適用するためには、解決すべき課題が多すぎました。しかし、オンプレミスであれば、導入はぐっと容易になります。

2つの異なるネットワークへの対応

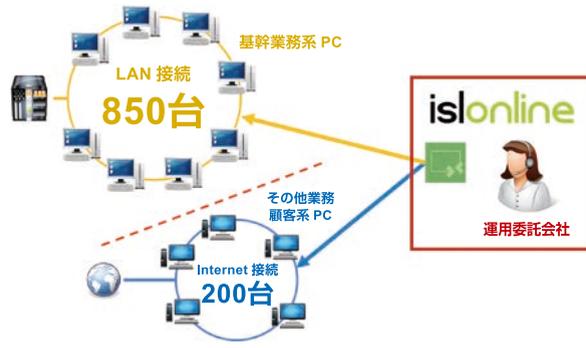
従来、業務用PCには統合管理ツール、インターネット用PCにはpcAnywhereを使用していましたが、それぞれ異なるネットワークで構築されているため、リモートツールの一元化により、両ネットワークへシームレスにサポートできる必要がありました。

オンプレミスで、2つのネットワークにまたがったリモート操作が可能であるリモートツールはISL Onlineしか存在しませんでした。

導入前の
水戸証券の
業務ネットワーク
(本店・支店)



ISL Online 導入後の
水戸証券の
業務ネットワーク
(本店・支店)



— オーシャンブリッジの対応はいかがでしたか。

導入時も、導入後も、オーシャンブリッジの対応は迅速で助かっています。技術に関するメール問い合わせでも、すぐに回答してくれるので、待ち時間を最小化できています。

ISL Online については、ファイル配布などの際に、結果を把握する機能があると、より効率化できていると思っていますので、対応を期待しています。



“オンプレミスで、2つの異なるネットワークに接続された端末をサポートできるリモートツールが必要でした。”
(小林氏)

リモートツールの一元化により、コスト削減とライセンスの一元管理が可能に

— 現在、サポート業務で ISL Online はどのように運用されているのでしょうか。

ISL Online の同時接続 10 ライセンスを契約し、常駐接続で運用しています。そのうち数ライセンスを運用委託会社で使用して、業務用とインターネット用 PC のサポート業務を一括して行っています。

ISL Online のライセンス形態は対象クライアント数ではないため、非常に合理的でコスト削減に大きく貢献しました。そのため、リモートツールの一元化により、5 年間で約 600 万円の目標達成が確実にになりました。

また、今まではサポート対象クライアントが増えるたびにライセンスを購入し、ライセンス管理において手間がかかっていましたが、ISL Online によりライセンスの一元管理もできるようになりました。

セキュリティ対策としては、インターネット側 PC からのリモート操作を禁止したり、ファイル共有・転送などにも制限を設けたりしています。これらは ISL Online の標準機能で行えるので、カスタマイズなどの必要がありませんでした。なにより、オンプレミスなので、業務用 PC のリモート操作を行う際も安心できます。

今後のコスト削減計画とオーシャンブリッジの対応

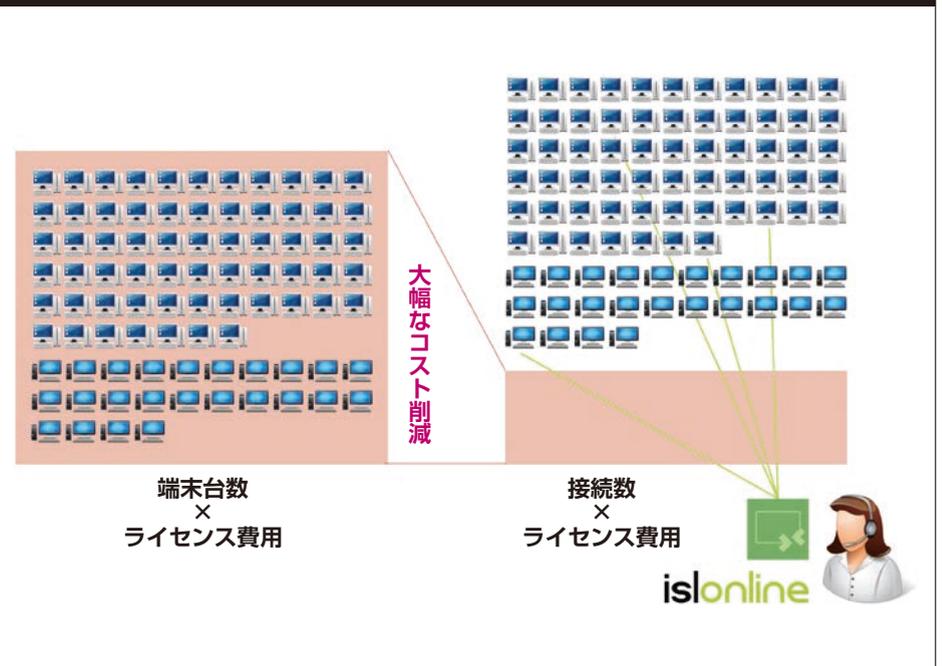
— コスト削減の施策として、次の計画があれば、お聞かせください。

ISL Online の導入でサポート業務の運用コストを大きく削減できましたが、これまでは統合管理ツールのようにオールインワンのソリューションで対応していた業務も、リモートツールなど必要な機能のみを持ったツールを組み合わせる方が、効率的に運用できる可能性に気づきました。この視点で、他の業務についても見直していこうと思っています。



“1 カ月間の試験運用の後に本格運用をはじめましたが、概ねトラブルはありません。”
(富田氏)

大幅なコスト削減を実現できたライセンス形態の違い



リモートコントロールツール

ISL Online 15 日間無料体験の申込は

<https://www.islonline.jp>



ISL Online国内総販売代理店

株式会社オーシャンブリッジ

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-12 住友不動産元赤坂ビル7F

Web: <https://www.oceanbridge.jp/>

Email: sales@oceanbridge.jp

TEL: 03-6809-0967 (営業部)

- ISL OnlineはXLAB d.o.o.の商標です。
- その他の社名または商品名等は、各社の登録商標または商標です。

ご購入に関するお問い合わせは